

# NWM 新聞



## 第27回 NWM in さいたま

# “Let's Party”

2014年9月13日から14日にかけて、栃木県日光市、日光オーリーブの里にて、第27回ネットワークミーティング in さいたま(以下 NWM さいたま)を開催しました。今回の NWM さいたまでは、全国のカトリック青年と聖職者、さいたま教区の青年スタッフなど合わせて136名が日光の地に集いました。

今回の NWM さいたまのテーマは「Let's Party!」。マタイ22章の「婚礼のたとえ話」の中で、婚礼の礼服を着ていない人が外に追い出されてしまうという話があります。私達人間は、誰一人分け隔てなく神様から招かれていることに、スタッフはこのストーリーを読んだ時に気付かされ、ここをテーマに選びました。では、その祝宴に神様から招かれたのだから、私達はそれぞれ、皆がこの祝宴を通して幸せになるように、それぞれ自分たちなりの準備をして神様にお捧げする、この行動を今回の NWM で味わえたらと、テーマを設定しました。参加者の皆さんには、祝宴の準備から最後の祝宴(ミサ)を行うまで、1人1人が協力しあって、創造的な NWM さいたまを体験していただきました。開催回数が過去に1回しかなかったため、初めてさいたま教区に足を運ぶ参加者も多く、新鮮さを味わえたと参加者の方からの声もいただきました。

☆NWMとは、カトリック青年、青年の活動を支えている信徒・修道者・司祭が自由に集い、そこでかかえている問題や信仰のこと等を分かち合い、交流する場であるとともに、いろいろな地域の青年や活動している青年と出会い、情報交換の場として、年2回、教区持ち回りで開催されています。

## 黙想班

担当：新村 良子

黙想班では、聖書の御言葉をヒントに、神様と自分の関わりを深めるための静かな個人黙想の時間を過ごしました。

### 【参加者感想】

期待と少しの緊張のなかで参加したNWM。

日本中の青年が集まった「日光オーリーブの里」は自然豊かで空気おいしい場所で、夕のテゼとミサ以外は自由参加、プログラムも自由に選択できる。今までにない斬新さがあった。選択プログラムでは黙想班を選んだ。理由は黙想という言葉に惹かれたというのがあってと思う。黙想班ではゆるしのプログラムや個人黙想を行い、静かでゆっくりとしたひとときを過ごす事ができた。そのあとのテゼはシンプルで心に響く言葉を皆で歌った。

翌日は最後の祝宴に向けて各々のお気に入りのTシャツを用意して、Tシャツの思い出をゆっくり散歩しながら語り合い、この2日間で感じたことを分かち合った。

そして、最後の祝宴はさまざまな所から参加した青年、司祭、修道者、そして長くにわたり準備してきたスタッフとひとつになって同じひととき、最高の祝宴をささげることができた。私はこのNWMを通して思うことは、「それぞれが違う場所で違う毎日を過ごしている人生。ときに迷ったり悩んだりするときがある。

そんな時、同じ思いで、同じイエスを信じて歩んでいる仲間がいる。

ときに孤独になるときがある。

そんな時、同じ思いで、同じイエスを信じて歩んでいる仲間がいる。」

そんな思いがフッと心から沸きあがった。そんなNWMだった。

大変な準備をしてくださったスタッフに感謝。集まった青年、司祭・修道者の方々に感謝。そして神に感謝。

(大阪教区 山川 啓)



# 選択プログラム

## テゼ班

担当：五十嵐 裕



☆プロテスタントの方にも参加していただき、テゼ班のお手伝いをしていただきました。

## ロザリオ班

担当：鈴木 梢

ロザリオ班では、5つの神秘についてや、それぞれの意向を分かち合い、祈りを込めながら『喜びの神秘』の一連を唱えました。

### 【参加者感想】

2014年9月14日から15日にかけて、日光オーリーブの里で開かれた、NW Min さいたまに参加させていただきました。全国から100名近くの方が参加されていて、活気溢れる雰囲気の中、青年たちのパワーを感じ取るが出来ました。プログラムの中では、いくつか分かれて活動する中で、私はロザリオ班に参加しました。ただ、ロザリオの祈りをするだけでなく、一人一人の祈りの意向を願いながら行いました。翌日は梅村司教様の司式でミサが行われ、今回のテーマがLet's Partyということもあり、最高の宴であるミサになりました。今回、NWMは初参加でしたが、色々な方と出会えた事を嬉しく思います。この、若い人達のつながりを今後も広げていくことが出来たら、教会はもっと素晴らしいものに成長していくと思います。今回、このNWMを準備してくださった、さいたま教区の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました！

(横浜教区 助祭 内藤聡)



## お祈り班

担当：両岡 一菜



## 分かち合い班

担当：筒井 未来子

なぜ教会に行くのかをテーマに和気あいあいと楽しい雰囲気で作分かち合いをしました。

### 【感想】

一つだけ私のこだわりがありました。それは、一人ひとり順番に話していくのではなく準備ができた人から自由に発言する進め方にこだわりました。参加者のみなさんも、私のこだわりを話すといいね！と喜んでくださり、参加者みんなで明るい楽しい雰囲気を作ってくれとても充実した分かち合いの時間となりました。もっと分かち合いしたかった！と喜んでくださったのが一番嬉しかったです。ありがとうございました♡

(スタッフ 筒井未来子)



## ローソク班

担当：田村 碧



# 選択プログラム

## 聖書班

担当：正木 聖

聖書班では、セブンステップ法を使って、「10人のおとめ」を味わいました。初心者から聖職者の方まで参加頂いたため、様々な聖書の見方を体験し、分かち合うことができました。

### 【参加者感想】

普段出向かないような場所で、初めましての人とも行った聖書の分かち合いは新鮮で、その分深みもより多く増し、一人ひとりが聖書を通して感じたことを、じっくり分かち合えたプログラムでした。このような素晴らしい機会を与えて下さったさいたまの STAFF の皆様を初め、参加された皆様、そして神様に、改めて感謝したいと思います。

(京都教区 奥埜 豪)



## 歌班

担当：立花 駿作

歌班では聞き覚えのある歌、ない歌を歌集を元に出し合い、歌う楽しさ、一体感を分かち合う班でした。

### 【参加者感想】

NWM in さいたまでは、どんなことをするのかと楽しみと緊張でした。プログラムを自分で選択するという初めてなことに戸惑いもありましたが、自分の好きなことができるなとうきょうしていました。そして私が選択したのが歌班。歌班はその名の通り、ずっと歌っていました(笑) 知ってる曲も知らない曲もみんなで歌っていたら大丈夫！みんなであれにしよう、これにしようなど好きな曲や思い出の曲などただひたすら歌い続けて(笑)でもそれがとっても楽しくてたまにはこんな過ごし方も素敵やなと思いました。

全体的に自由に過ごし、その中でたくさんの方と関わったことを嬉しく思います。

(京都教区 小野佳織)



# 選択プログラム

## 何もしない班

担当：中村 美沙

### 【感想】

最初から最後までノープランでした。集まって、のんびりしたり、話したり、時には体を動かしたり。お天気にも恵まれ、あわただしい日常から少し解放された時間になったのではないのでしょうか。たまにはこんな班、こんなプログラムがあってもいいのかな。

(スタッフ 中村美沙)



## キャンプファイヤー班

担当：内藤 聡



## BBQ

担当：トラン・ティエン・キエム

Special Thanks

高瀬神学生、永島神学生、Sr.蓮沼



## ミサ

梅村司教様に司式していただきました！！

ありがとうございました。

十字架祭壇やローソクなど、スタッフのこだわりがあふれたミサでした。

# 【隊長 感想】

今回、さいたま教区は 17 回振りにして2回目ということで、自分を含めスタッフ全員が初めての NWM のスタッフをやる中、実行委員長という大役をやらせて頂きました。

実行委員長として至らない点は多々ありましたが、それでもスタッフのみんなはとても優しく、いつでも自分と向き合ってくれて、何でも説明してくれたり、時には叱ってくれたり本当に有り難かったです。

当日は、最初は雨に降られたいもしましたが、その後は天候にも恵まれ、1日目のオープニング、選択プログラムから2日目のミサに至るまで、スタッフと参加者の全員で準備し作り上げた祝宴が少しでも皆さんの心に残って貰えれば嬉しいです。

今回、スタッフや参加者、施設を貸して下さった方々やテゼをして下さった方々など、1人1人に感謝の気持ちでいっぱいです、ありがとうございました。またいつか、何かの機会にお会い出来るのを楽しみにしています。(高木慶太郎)



# 【さいたま教区紹介】

さいたま教区は埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県の4県からなり、日本人の信徒数よりも非常に外国籍の信徒が多く、約80%が外国籍信徒という多国籍教区です。その中で、さいたま教区の青年は、「歌って踊って分かち合い」をモットーに活動しています。このモットーをもとに、各県持ち回りで様々な国の人とある国の料理を通じて交流する「イエスの食卓を囲む会」や、さいたま教区中の青年が集う青年教区大会や年に2回程度黙想会を行っています。

埼玉には特に何もありませんが、群馬には温泉が多く、栃木には高原が広がっており、茨城には黄門様がにっこり観光客を迎え入れています。また、それぞれの教会によっては、ブラジル人やペルー人が多かったり、ある教会ではベトナム人、またある教会ではフィリピン人が多く居たいするので、お近くまで観光に来た際にはぜひさいたま教区の教会にも足を運んでみてください。



作成者: 第 27 回ネットワークミーティング in さいたま実行委員会

発行元: カトリック青年連絡協議会

URL: <http://catholicyouth.jp>

E-mail: [info@catholicyouth.jp](mailto:info@catholicyouth.jp)